

TRK-3488

取扱説明書 rev 1.5

本機は一般家庭用オーディオ機器として作られたものです。

一般家庭用以外(たとえば飲食店等での BGM など営業用の長時間使用、車両、船舶への搭載使用、野外での使用など)に使用しないでください。

一般家庭用以外の使用で故障した場合は、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。



はじめに

この度はTRK-3488完成品をお買い求め頂きまして誠に有り難うございます。本機は組み立てキットのTRK-3488をあらかじめ組み上げた製品版となります。下記ご使用上の注意点をご覧頂き事故の無い様ご使用下さい。

注意事項

- ・使用時の真空管は非常に熱くなります。やけどやケガを防止するため、必ず付属の真空管カバーを取り付けて、風通しの良い場所に設置して下さい。また、本機は背面側に重量が偏りますので、ぐらつきのない安定した場所に設置して下さい。
- ・真空管を交換する時は、電源を切って温度が十分に下がってから行って下さい。故障ややけどなどの原因になります。
- ・多湿やほこりの多い場所や水気の多い場所に設置しないで下さい。感電や故障の原因になります。真空管カバー内にほこりがたまったら、電源を切り、真空管が十分冷えた事を確認し、乾いた布などで清掃して下さい。
- ・内部は高電圧箇所があり、感電ややけどを負う恐れがあります。裏蓋を開けて内部に触れない様にして下さい。
- ・万が一、内部に異物が混入したり水分がかかったり、発煙、外装の異常発熱が生じた場合は直ちに使用を中止して、下記問い合わせ先までご相談下さい。そのままご使用になると、感電、火災、事故の原因となります。
- ・本機は AC100V(50/60Hz)専用機です。他の電源電圧でご使用の場合は必ず電源変圧器を併用して下さい。
- ・業務用など一般家庭用以外での使用による故障および損傷は保証対象外です。

※付属の電源コードは本機専用です。他の機器では使用出来ません。

※お問い合わせ先※ 月～金曜日(祝日除く)10～16時

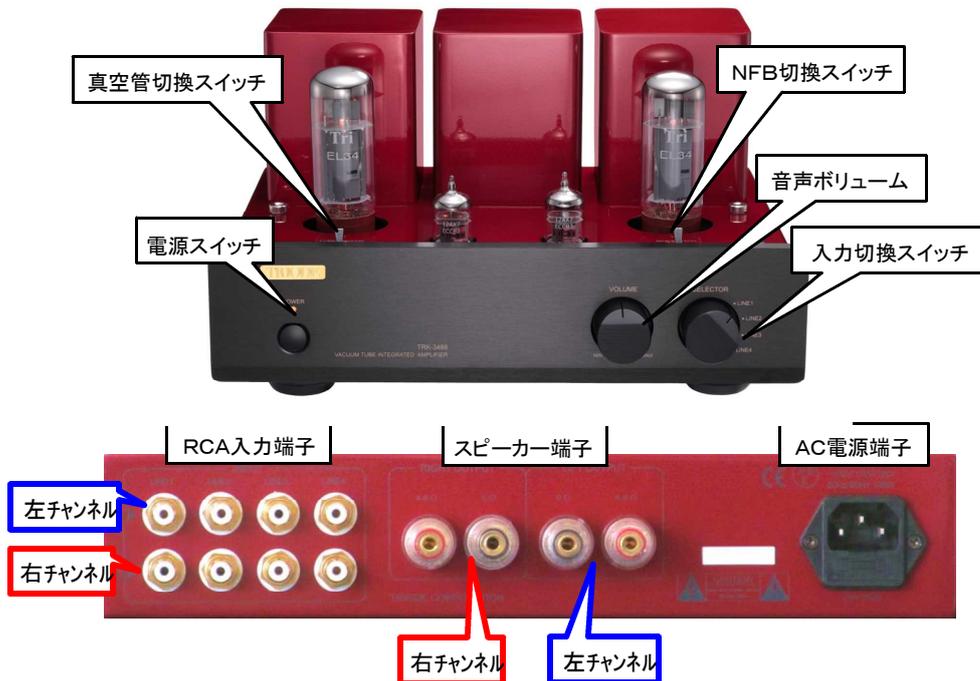
株式会社 トライオード

〒343-0032 埼玉県越谷市袋山 609-3

Tel : 048-940-3852 Fax : 048-940-3853

mail : service@triode.co.jp

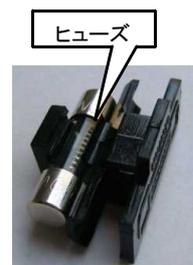
各部の名称



- ・電源スイッチ
 - … 電源のON・OFFを行います。押し込まれた状態がONです。
- ・音声ボリューム
 - … 音量を調整します。スピーカー保護の為、電源を入れる時にはMINにして下さい。
- ・入力切換スイッチ
 - … 背面のLINE1～LINE4に接続した機器を切り換えます。
- ・真空管切換スイッチ
 - … 使用する出力真空管により切換します。本機では付属のEL34の他にKT88を使用することが出来ます。その際はKT88側に入れてご使用下さい。（「真空管取り付けの項」参照）
- ※真空管交換及びスイッチ切換は必ず電源OFFの状態で行って下さい。（真空管の交換参照）
- ・NFB切換スイッチ
 - … ネガティブフィードバックのON・OFFを切り換えます。通常はONにして下さい。OFFにすると出力が大きくなります。音色の違いを試して見て下さい。
- ・RCA入力端子
 - … CDプレーヤー等のラインレベルのソースを入力出来ます。
- ・スピーカー端子
 - … スピーカーを接続します。Yラグ/バナナプラグにも対応します。4～8Ωに対応します。
- ・AC電源端子
 - … 電源ケーブルを差し込み、コンセントに接続します。
 - 内部にヒューズが装填されています。（2A）
 - 交換の際は右図の様に溝にマイナスドライバーを引っかけて引き抜きます。ホルダーのヒューズを入れ換えたら元の位置に押し込んで装着します。

※ヒューズはスローブロータイプをご使用下さい

溝に引っかけ、引き抜きます。



接続方法

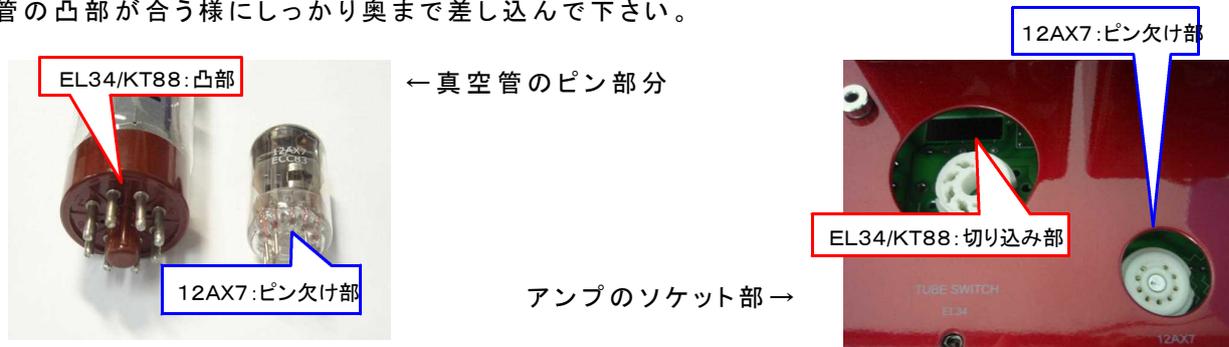
1. CDプレーヤー等の出力と本機のRCA入力端子をピンコードで接続します。入力はLINE1からLINE4まで4系統あります。
※本機にフォノイコライザーを内蔵していないレコードプレーヤーを接続の際には別途フォノアンプ(またはフォノイコライザー)をご用意下さい。
2. スピーカー端子にスピーカーを接続します。左右それぞれ赤がプラス、黒がマイナスとなる様に配線して下さい。どちらか片方の極性が逆になると、音楽が左右のスピーカーの中心にまとまらず、落ち着かない感じになります。
3. 電源スイッチがOFFの状態ですべて電源ケーブルをAC電源端子とコンセントに接続します。
※接続に使用するピンコードやスピーカーケーブルは別途をご用意下さい。

使用方法

1. 真空管切換スイッチが使用する真空管(お買上時はEL34)になっているか確認します。
※必ず正しい位置になっている事を確認して下さい。間違って使用した場合、真空管を破損してしまう事があります。
2. ボリュームを左に絞った状態で電源スイッチをONにします。
3. 入力切換スイッチでお好みのソースを選び、ボリュームで音量を調節して楽しみ下さい。

真空管の交換

電源がオフになっている事を確認し、真空管を取り付けます。真空管カバーを左右の手でしっかり持ち、真っ直ぐ上に引き抜く様に外し、真空管切り替えスイッチを使用する真空管(EL34またはKT88)のポジションにあわせ、真空管をソケットに差し込みます。下図の様にソケットの切り込みと真空管の凸部が合う様にしっかり奥まで差し込んで下さい。



12AX7もECC83及びECC803に交換が可能です。真空管とソケットのピン欠け部があう様にしっかり差し込んで下さい。ピンが細いので折れない様に十分注意して下さい。

主な仕様

真空管A級シングル自己バイアス回路
使用真空管:EL34(6CA7)x2本
12AX7(ECC83)x2本
交換対象真空管:KT88(6550)
入力インピーダンス:100k Ω
入力感度:700mV
定格出力:6Wx2(EL34)/8 Ω
7Wx2(KT88)/8 Ω

周波数特性:20Hz~40kHz(± 1 dB)
S/N比:90dB
電源:AC100V(50/60Hz)
消費電力:70W
外形寸法・重量:310x280x190mm 12kg